

講座を終えて。

「新しい出会いではじめの一步」

講座でボランティアの輪が広がった

川本 文部科学省から委嘱を受けたことで、今回初めてセンターが主催をして講座を行うことになったわけですが、終えてみてどうでしたか。

米山 やってよかったですね。米山 今回の方の中には、ここに来ただけでは終わらない印象の人が多いか。米山 今回の受講生の



米山 美保子
セカンドライフ
クリエイター

うれしかったですね。

渡部 講座開催の広報期間が少なかつたですが、声がけすることでボランティアに目が向いた人も多かつた気がします。湖陵町からも参加の問い合わせがありましたよ。その人は講座で学んだことを身近なところで実践されるようでした。まるで、タンポポの種が風にふわり流されて飛んで、たどり着いた先々に花が咲くような、そんな感じがしましたね。

米山 ボランティアの輪が、ボランティアセンターを拠点

ろ、広報紙でボランティアセンターの存在を知り、電話で自分にかかってくることはないかと相談があったのが最初でした。それから、米山さんと話をされて、センターに花生けをするというボランティアが始まったんですね。

米山 花が好きなので、自転車でここに

子供が一人立ちした途端、寂しさが押し寄せてきたと言う人を一三人知っています。そんな人には、今回の講座は、いいきっかけとなったのではないのでしょうか。

米山 今回の講座開講式で、講師の方が「島根県は日本一の高齢者県です。見方を変えると、日本一の知識の宝庫だと誇りに思う」と話されてい

ました。この講座が、少しでもその知識を引き出すきっかけとなっていればと思います。

ボランティアは強制では成り立たない

川本 さて、今年一年の中で私の印象に残ったことに、出羽さんの存在があります。都会から帰って、まだ、そんなに知り合いのいなかったこ



出雲市総合ボランティアセンター長 川本 眞 博

私、ここで、いろいろな相談を受けるようになって、クリエイターの仕事はとても大切だと思うようになりました。また、いろいろな人に接するうちに、相談を受ける私

自身、肩ひじはらなくてよいということがわかるようになりましたね。川本 クリエーターの役割は、日ごろから活動団体などの現状をよく知ることから始まると思います。たくさんさんの情報が頭に入っていれば、相談を受けたとき、無理なく自然な形でそれら



渡部 幸子
セカンドライフ
クリエイター

る、広報紙でボランティアセンターの存在を知り、電話で自分にかかってくることはないかと相談があったのが最初でした。それから、米山さんと話をされて、センターに花生けをするというボランティアが始まったんですね。

米山 花が好きなので、自転車でここに

向かう途中、咲いていた道端の花を摘んできて生けたりしてくださいませ。センターに花瓶や花をくださる方があ

らなれないと思うのです。ボランティアは、強制では決して成り立たないものだから。今回、講座を開くにあたって、受講者が体験されたさまざまなボランティアの活動団体は、受講者受入れに構えた姿勢はありませんでした。普段の活動に自然な形で受け入れただけ。そんな感覚で、取り組んでいただけて、よかったです。ありがとうございます。これからも、

ボランティア団体と共に活動をした体験から

新しい出会いで
一歩踏み出すことが
できそうです。



渡橋町 松崎文江さん

「サークル・ベーターベン」の話を聞いて興味を引かれる松崎さん(中央)

「ボランティアの心」が
少し理解できたような
気がします。



塩冶有原町 岡 秋造さん

軽スポーツを楽しんだ岡さん(左から二番目)

活動に参加して
目からうろこが
取れる思いでした。



朝山町 加藤澄子さん

「かたつむり」の活動に参加した加藤さん(右端)

ふと見た広報紙の記事に目
がとまり、思い切って申し込
んでみました。

特別な特技があるわけでもなく、私にできるボランティアなんてないと思っていました。なので、ボランティアが、こんなに幅広くて、自分がしようと思えば、何でもできるんだということが分かって、うれしくなりました。

私は、これまでに仕事で事務の経験がありました。その関係でワープロが打てるのですが、こんなことがボランティアの活動に結びつくなんて少々驚きです。そのことが、サークル・ベーターベンの活動に参加させてもらうきっかけとなりました。

新しい方との出会いの中で、今、私も一歩踏み出すことができそうです。

老人クラブ、趣味の会の世話はしていますが、特にボランティア活動はしていないので、「ボランティアをしよう」と構えて参加しました。気軽にできるものだからというのが実感です。『だいきくさん』では三角巾一枚での応急措置を習い、軽スポーツでは、いろいろな種類のゲームを気軽に楽しむことができました。

パソコンでは、マウスが思うように動かさなくて困りましたが、パソコンに触れることができたのは、いい経験でした。いろいろ体験させてもらい、ありがたうございました。

「ボランティアの心」に触れ、少し理解できたような気がします。まだ、具体的には決めていませんが、今後、何か見つけて活動していきたいと思っています。

私にとっては、毎日がボランティアです。息子が車椅子で生活をしている関係で、家の中では福祉ボランティアの生活です。これ以上私がすべきことはないと思っていますが、『かたつむり』の活動に参加して、目からうろこが取れる思いでした。何かをしてあげるのがボランティアだと思っています。

いっしょに楽しむのもボランティア、自分が楽しいと感じながらする活動がボランティアであるということに気づかせてもらいました。

これから、『たんぼほの会』(障害者とその家族の会)でも、こんな発想で活動していきたいと思えました。『かたつむり』には、これからも参加してみたいと思います。